

サステナビリティレポート2023 編集方針

発行目的

当社グループは、サステナブルな経営の実現に資するために、以下の目的に基づいてサステナビリティレポート2023（以下、本レポート）を発行します。

- ① **説明責任の遂行**: 共創共生の姿勢を持つ企業グループとして、事業を通じた社会・環境への貢献と負荷低減について説明責任を果たします。
- ② **適切な社外評価の獲得**: 企業評価機関、長期投資家、NGO、有識者など、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）全般について特に関心の高いステークホルダー（利害関係者）からの要請をふまえた情報開示を行います。特に、企業評価機関のESG評価項目は「国際社会やステークホルダーの期待・要請を集約したもの」と捉え、適切な評価獲得を目指します。
- ③ **経営改善への活用**: 経営におけるPDCAの「外部チェック」の一つとして、本レポートをもとにしたESG評価や対話での指摘事項を社内にフィードバックし、改善につなげます。

誌面構成

・本レポートは、「パーパスの考え方と全体像」および「実践報告」「外部評価・データ集」で構成しています。

【“将来の夢”実現に向けて】 P003～P012

持続的な経営を推進するための、“将来の夢”（パーパス）実現に向けた考えをトップメッセージとして掲載するとともに、“将来の夢”と中・長期計画との関係性や、事業とESGの関係性について開示しています。

【実践報告ページ】 P013～P124

ESGの各領域で「担当役員メッセージ」を掲載するとともに、持続的な経営基盤の構築を推進する体制や取り組みについて、カテゴリや重要テーマごとに「方針・考え方（課題へのアプローチ）」「マネジメント」「主な取り組み」を整理し、体系的に報告しています。

【外部評価・データ集】 P125～P186

外部評価ならびにESGに関するパフォーマンスの詳細データを掲載しています。また、環境行動計画の実績・自己評価についても報告しています。

基本情報

報告媒体

〈日本語版〉と〈英語版〉を、PDFにて発行しています。

想定している読者対象

企業評価機関、長期投資家、NGO、有識者などを主たる読者対象とし、お客さま、取引先、従業員、地域市民（NPO・NGOを含む）、株主、行政などの幅広いステークホルダーも対象としています。

報告対象組織

大和ハウス工業を中心に大和ハウスグループ全体（2023年3月31日現在、連結子会社432社、持分法適用関連会社54社および持分法非適用関連会社1社）について報告しています。

報告対象期間

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）を基本としていますが、必要に応じて2021年度以前・2023年度以降の活動内容も掲載しています。

発行日

日本語版: 2023年7月 英語版: 2023年9月（予定）
（年1回発行、次回発行予定: 2024年7月）

参考にした主なガイドライン

- ・GRI (Global Reporting Initiative) サステナビリティ・レポートニング・スタンダード
- ・国際標準化機構「ISO26000」
- ・IIRC「国際統合報告フレームワーク」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2018年度版）」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」

目次

CHAPTER 00 “将来の夢”実現に向けて

- 001 編集方針
- 002 目次
- 003 “将来の夢”
- 004 トップメッセージ
- 008 マテリアリティと特定プロセス
- 011 特集 | カーボンニュートラル戦略

CHAPTER 01 実践報告 環境

- 014 担当役員メッセージ
- 017 環境長期ビジョン
- 020 環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム)
- 021 環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)
- 022 総合(環境貢献型事業の拡大)
- 023 環境経営の基盤強化
環境マネジメント/サプライチェーンマネジメント(環境) /
環境コミュニケーション
- 032 気候変動の緩和と適応
TCFDへの対応
- 045 自然環境との調和[生物多様性保全]
- 052 資源循環・水環境保全[長寿命化・廃棄物削減]
- 059 化学物質による汚染の防止

CHAPTER 02 実践報告 社会

- 065 担当役員メッセージ
- 068 人権マネジメント
- 074 人財基盤
従業員のコンプライアンス
人財の確保と育成
働きがいとウェルビーイング
DE & I(ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン)
- 087 顧客基盤
インクルーシブなまちづくり
顧客リレーションの向上
地域との対話と共生
- 098 技術・ものづくり基盤
社会課題の解決に資するイノベーション体制の構築
ものづくりの生産性向上と品質確保の両立
グループCSR 調達の促進と効率化
工場・施工現場の安全・安心の徹底

CHAPTER 03 実践報告 ガバナンス

- 111 担当役員メッセージ
- 115 コーポレートガバナンス
- 119 内部統制
- 120 リスクマネジメントと企業倫理の確立

CHAPTER 04 外部評価・データ集

外部との協働・外部からの評価

- 126 外部との協働
- 128 主な認定・表彰など
- 131 ESGインデックス組み入れ状況

データ集

- 133 環境データ
- 172 社会データ
- 185 ガバナンスデータ

- 187 第三者保証報告書

本レポートに掲載しているサステナビリティ情報などについて、第三者保証を受けており、その対象となる情報については、各項目に を記載しています。(第三者保証報告書はP187に掲載)